

## さがみ縦貫道路周辺地域等化学物質調査検討会

## 第6回 議事要旨(案)

1. 日時 : 平成15年12月10日(水) 10:00~12:00
2. 場所 : 東京商工会議所(5F)
3. 出席者 :

(検討会委員) 出席者: 森田座長、浅利委員、伊藤委員、興委員、白石委員、田中委員、花岡委員、平田委員、山里委員、横山委員

(環境省) 環境保健部長、調査官、環境リスク評価室長ほか

(オブザーバー) 茨城県: 松井環境対策課長、神栖町: 早見生活環境部長

4. 環境保健部長挨拶
5. 検討会での確認事項

第5回検討会の議事要旨(案)を確認した。

## 6. 議事概要

## (1) 議題1「茨城県神栖町における汚染源調査について」

事務局及び森田座長から、神栖町の汚染源調査について説明を行った後、今回実施された範囲内における各種の調査結果について議論を行った。

議論の中で、A井戸近傍においては、A井戸より南東10m、南西10m、南東75mに設けられた、3つの観測井戸の地下水におけるジフェニルアルシン酸濃度が高いことが着目され、この3地点を中心として汚染源絞り込みを引き続き行うべきであるとの意見が出された。

また、B地区を中心とする110本の飲用井戸の水質調査結果について議論が行われた。今回の結果を県によって3~5月に行われた調査と比較すると、汚染範囲の拡大がほとんど認められなかった。

今後の方針として、A井戸近傍においては、上述の3地点においてボーリングを中心とする調査を継続することが確認された。また今後、掘削を行う可能性があることから、その準備を円滑に進めるため、掘削技術等を検討する作業部会を設けることが確認された。一方B地区については、その汚染の濃度が低いことから、まずは、半径200m程度以内で大まかに12本程度のボーリングを実施し、地下水の分析を行うとともに、水位測定による地下水の流れの把握を通じて、汚染範囲と汚染源の絞り込みを行うことを確認した。

(2) その他  
特になし。